

古松蕉窓 ふるまつ せうさ 舊久留米藩郷士。天保六年七月二十五日筑後國下妻郡溝口村生れ、明治十五年六月十日歿（八三—一三二）。諱淵臣、字子滋、通稱清水真郷、古松簡一。安政六年藩費明善堂寮生。のち江戸へ安井包軒に學び、文久二年歸藩後脱藩上洛。元治元年藤田小四郎の筑波山舉兵に加はり、敗れて京に潜伏。慶應二年第一次征長の折、廣島で幕兵に捕へられ投獄、その後赦されて京に戻り、翌年歸藩。明治二年長州脱藩隊十事件に連坐、獄中が病死。

遺著『變國止議』（古松簡一名、漆間真學・石川鴻齋評、明治十六年九月十五日漆間真學出版、丸善商店書店）。